



がん看護専門看護師

役割

がん看護専門看護師は、複雑で多くの課題を持つがん患者さん、ご家族への支援（高度実践）が期待されています。そのために、倫理的な感性や事象を俯瞰してみる力、多くの医療者や職種と連携できるコミュニケーション能力が必要とされています。そのような力を、臨床経験や院内の活動だけでなく、多様な社会活動を通して学んでいくことも大切です。

主な活動内容

実践・相談・調整

- ・がん相談支援センター
- ・がん看護相談
- ・緩和ケアチーム
- ・AYA世代(15~39歳)支援チーム
- ・がんの親を持つ子どもへのサポートチーム
- ・看護部の倫理相談ラウンド
- ・浮腫ケア外来、外来化学療法室 など

外来や病棟で多職種と連携し
患者さん・ご家族の相談はもちろん
スタッフの相談にも対応しています

教育・研究活動

- ・がん患者さんやご家族に向けたセミナー
- ・がん看護研修や出張勉強会
- ・緩和ケアカンファレンス（PCC）
- ・がん看護専門看護師を目指す大学院生の実習指導
- ・がん看護専門看護師認定試験の受験サポート
- ・学会での研究発表やスタッフの研究サポート など

社会活動

- ・がん関連の市民講座の企画運営
- ・雑誌やテキストの執筆
- ・外部研修や外部講演の講師
- ・大学院非常勤講師
- ・ELNEC-J指導者研修 など

がん看護には、時期や療養場所を問わず、患者さんやご家族に寄り添うことのできる看護の醍醐味があります！